

○ 決裁 ○ 供覧

※決裁区分については、決裁権者の欄の()内に✓をつけること。

文書番号 取 第 号

市長()	副市長()	部長(✓)	次 長	課 長()	副参事	課長補佐	係 長
		南	川野	彦坂	高中	木野本	木野本
合 議				起 案	R1 ・ 11 ・ 19		
				施行予定	R1 ・ 11 ・ 19		
				決裁(閲了)	R1 ・ 11 ・ 19		
				完 結	R1 ・ 11 ・ 19		
あて先				発信者名			
各位				政策推進課			
件 名 11月18日庁議報告及び次回庁議開催について							
<input type="checkbox"/> 照会 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 申請 <input checked="" type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 決定							
上記のことについて別記のとおりしてよろしいか伺います。							
してよろしいか伺います。							
個別フォルダー名	10月～12月 庁議報告集			保存期間	永年 (10年) 5年 3年 1年		
施行取扱上の注意 全部署あてに課メールにて配信します。				起案者			
				政策推進			部
				政策推進			課
				企画			係
氏 名				中川 勇紀			
				印			

令和元年11月18日

庁議報告

1 開会

【市長より】

採用関係や災害関係など、忙しい日々が続いておりますが、業務への対応お疲れ様です。副市長の就任により、今後は安定的な体制がつかれるかと思えます。各部においては、財政事情もあるため、国の補助金を活用できる事業をもう一度見直してください。先般、国土交通省の方と協議した中で、国土強靱化計画について言及があり、策定した自治体に対しては国が支援をするという話がありました。取手市においても、国土強靱化計画が策定可能か、他市町村の導入状況について調べてください。

2 審議事項

■小堀の渡し新造船の船名及び船体色の選定について

【建設部】

【建設部長】

現在、小堀の渡しの新船について発注しており、納期は令和2年3月となります。また、シンボルマークの作成については、東京藝術大学にお願いしております。シンボルマーク作成の過程において、東京藝術大学の日比野芸術学部長より、船名及び船体カラーリングの提案がありましたので、ご審議頂きたいと思えます。

<船名案>

- ①とりで号
- ②KAWASEMI（日比野学部長提案）

<船体色案>

- ①レトロな内装にあわせた黒、茶、赤をベースとしたクラシックなデザイン。
- ②現行船の色を踏襲し、赤、ブルー、茶を基調とした現代風なデザイン。
- ③カワセミをの名前にちなんで、カラフルで水面に映ったときの輝きをイメージした、赤、ライトブルー、黄色を基調としたデザイン。（日比野学部長提案）

審議結果

審議事項：小堀の渡し新造船の船名及び船体色の選定について

船名 …①とりで号

船体色…③日比野学部長提案デザイン

■公立保育所の整備方針について

【福祉部】

【福祉部長】

現在、第四次保育所整備計画を策定するにあたり、取手市子ども・子育て支援事業計画において設定した、4つの中学校区域ごとに公立保育所1カ所配置の考え方を基本として公立保育所の整備方針を検討する必要があります。そこで、4つの中学校区域のうち、公立保育所が2カ所となっている2地区について、以下の対応を検討しております。

- ・戸頭・永山中学校区域→戸頭北保育所を廃止
- ・藤代・藤代南中学校区域→中央保育所を民営化

戸頭北保育所については昭和50年に建築され、老朽化が進んでいることから廃止し、中央保育所については民営化により公立保育所の廃止を検討します。いずれも第四次保育所整備計画期間内に実施したいと考えます。保育需要と確保の方策については、児童人口の減少から、計画当初は不足が出る部分はあるものの、令和6年度には全ての区域で定員は不足しないものと見込んでいます。

審議結果

審議事項：公立保育所の整備方針について

…担当課提案通り、戸頭北保育所を廃止し、中央保育所を民営化することを検討する。

3. 報告事項

■新取手駅自転車駐車場の市への移管及び自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

【総務部】

市では放置自転車対策の一環として、平成3年9月に自転車駐車場整備センターと協定を締結し、新取手駅に自転車駐車場を整備しました。自転車駐車場については自転車駐車場整備センターが有料で管理してきましたが、利用者の減少が進み、施設運営が困難であることから、今年度の協定期限に伴い、施設について市への無償譲渡を行います。

その後の管理については、今までのように利用料を有料とする場合と無料とする場合とでは、利用料を無料として管理することがもっとも支出が少ないことから、駐車場利用料は無料とします。この内容で条例の改正案を12月議会へ上程します。

【財政部長】

駐車場運営にあたって、市経費の中にある土地賃借料については、協定締結時から見直しが行われていないので、引き下げる方向での交渉努力をしてください。

■取手地区更生保護サポートセンターの設置について

【福祉部】

保護司が担当ケースの社会復帰の手助けをするため、定期的な面接を行ったり、水戸保護観察所による定期駐在等に使用する為の施設である、更生保護サポートセンタ

令和元年11月18日
政策会議室

庁 議 次 第

1 開 会

2 審議事項

- 小堀の渡し新造船の船名及び船体色の選定について

【建設部】

- 公立保育所の整備方針について

【福祉部】

3 報告事項

- 新取手駅自転車駐車場の市への移管及び自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

【総務部】

- 取手地区更正保護サポートセンターの設置について

【福祉部】

- 取手ウェルネスプラザ及び取手ウェルネスパークの指定管理者候補の決定について

【健康増進部】





- 取手市立地適正化計画の策定に伴う市民意見公募（パブリックコメント）の結果公表について

【都市整備部】

4 その他

5 閉 会

庁議付議依頼書

部長	次長	課長	課長補佐	係長	係
					

提出年月日	令和元年 11 月 15 日	付議年月日	令和元年 11 月 15 日
提出部課名	福祉部子育て支援課		
案件題名	公立保育所の整備方針について		

付議事項別内容

審議	<p><審議事項要旨></p> <p>第四次保育所整備計画を策定するにあたり、取手市子ども・子育て支援事業計画において設定した、4つの中学校区域ごとに公立保育所1か所配置の考え方を基本として公立保育所の整備方針について検討する必要があります。</p>
	<p><特に審議を求めたい事項></p> <p>戸頭北保育所の廃止と中央保育所の民営化</p>
報告	<p><報告事項の要旨></p>
その他	<p><事案の要旨></p>

※審議・報告・その他のいずれかに○を付してください。

参考資料（別添）

【現状】

平成31年度4月現在の教育・保育施設

公立保育所7か所・私立保育園8か所・認定こども園9か所・幼稚園4か所・事業所内保育所1か所の計29か所の教育・保育施設があります。

※令和2年1月に吉田保育所と舟山保育所が統合して、井野なないろ保育所として開所するため公立保育所は6か所となります。

	人口 (人)	児童数(人)			認定 こども園 (か所)	幼稚園 (か所)	保育所(か所)		事業所内 保育所 (か所)	認可外 保育所 (か所)
		0-2 歳	3-5 歳	6-11 歳			公立	私立		
①取手第一 中学校区域	23,390	392	426	951	2	2	2	1	0	2
②取手第二 中学校区域	26,877	417	478	1,088	3	0	1	2	0	1
③戸頭・永山 中学校区域	25,136	589	575	1,173	3	0	2	1	1	3
④藤代・藤代南 中学校区域	31,801	544	617	1,491	1	2	2	4	0	5
市全域	107,204	1,942	2,096	4,703	9	4	7	8	1	11

区域	保育所名	現施設の 建築年	構造・規模	延べ面積 (㎡)	定員 (人)	備考
取手第一中学校区域	吉田保育所	S.46年	鉄骨造1階	666.07	120	R2.1 統合 井野なないろ保育所
	舟山保育所	S.46年	鉄骨造1階	648.66	100	
取手第二中学校区域	白山保育所	H.11年	鉄骨造2階	1,581.11	130	
戸頭・永山中学校区域	永山保育所	H.21年	鉄骨造2階	978.85	100	
	戸頭北保育所	S.50年	鉄骨造1階	565.47	90	
藤代・藤代南中学校区域	中央保育所	H.2年	鉄骨造1階	632.76	120	
	久賀保育所	H.20年	鉄骨造2階	1,272.24	132	

【課題】

4つの中学校区域のうち、2つの区域には公立保育所が2か所ずつある。

【対応】

- ・戸頭・永山中学校区域→戸頭北保育所を廃止とする。(第四次保育所整備期間中)
- ・藤代・藤代南中学校区域→中央保育所を民営化する。(第四次保育所整備期間中)

4つの中学校区域ごとに公立保育所1か所配置の考え方を基本とし、老朽化している戸頭北保育所の廃止と、中央保育所の民営化について検討していきます。

保育需要の見込みと確保方策

・児童人口の推移

本市の児童人口は、減少傾向で推移し、保育年齢では令和6年では3,858人となっています。

区分	取手市							
	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
0歳	639	613	628	575	573	572	576	581
1歳	657	666	627	662	609	606	604	608
2歳	700	657	687	637	672	621	617	616
3歳	689	712	659	727	677	714	662	658
4歳	764	707	723	663	733	683	721	669
5歳	742	765	714	727	667	738	686	726
保育年齢(0～5歳)	4,191	4,120	4,038	3,991	3,931	3,934	3,866	3,858
6歳	784	755	771	720	733	672	744	693
7歳	811	782	746	770	719	732	672	743
8歳	788	822	789	751	777	724	738	677
9歳	798	788	821	794	756	782	729	743
10歳	840	803	785	823	796	758	783	731
11歳	842	845	791	785	824	796	759	783
小学校年齢(6～11歳)	4,863	4,795	4,703	4,643	4,605	4,464	4,425	4,370
合計	9,054	8,915	8,741	8,634	8,536	8,398	8,291	8,228

※取手市住民基本台帳(各年4月1日現在)

第二期取手市子ども・子育て支援事業計画における量の見込みと確保方策

第二期取手市子ども・子育て支援事業計画において定める令和2年度以降の保育の量の見込みと確保方策の数値からは、市全域では令和2年度の3号(1・2歳)を除き、いずれの認定区分においても定員は不足しないと見込まれます。

計画期間である5年間で見ると、定員不足が見込まれるところはありませんが、令和6年度には、すべての区域で定員は不足しないと見込まれています。戸頭・永山中学校区域は、2か所の民間施設が改築し戸頭北保育所の定員90人を上回る111人の定員増の拡充を図りました。戸頭北保育所の定員については、同区域内においても受入れが可能と考えます。

今後、市全域の児童人口は、総人口の減少に伴い、児童人口も減少傾向で推移すると予測されることから、児童人口の減少にも適切に対応できるよう、公立保育所が担う役割の検討を進めるとともに、公立保育所の整備方針も併せて検討していく必要があります。

市全域

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
2号 (3-5歳)	量の見込み①	1,083	1,062	1,088	1,053	1,046
	確保方策②	1,271	1,271	1,271	1,271	1,271
	差(②-①)	188	209	183	218	225
3号 (1-2歳)	量の見込み①	666	657	627	626	626
	確保方策②	663	663	663	663	663
	差(②-①)	-3	6	36	37	37
3号 (0歳)	量の見込み①	83	82	82	83	83
	確保方策②	170	170	170	170	170
	差(②-①)	87	88	88	87	87
計	量の見込み①	1,832	1,801	1,797	1,762	1,755
	確保方策②	2,104	2,104	2,104	2,104	2,104
	差(②-①)	272	303	307	342	349

永山・戸頭中学校区域

		R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
2号 (3-5歳)	量の見込み①	305	316	341	322	312
	確保方策②	321	321	321	321	321
	差(②-①)	16	5	-20	-1	9
3号 (1-2歳)	量の見込み①	215	202	181	187	192
	確保方策②	195	195	195	195	195
	差(②-①)	-20	-7	14	8	3
3号 (0歳)	量の見込み①	22	22	23	24	25
	確保方策②	44	44	44	44	44
	差(②-①)	22	22	21	20	19
計	量の見込み①	542	540	545	533	529
	確保方策②	560	560	560	560	560
	差(②-①)	18	20	15	27	31

<参考>

待機児童の現状

平成31年4月の待機児童数15人

内訳：0歳児4人、1歳児11人

主な理由：保育士不足による定員までの入所ができていない等

民間施設への施設整備補助金

年度	施設名	整備前保育定員 (人)	整備後保育定員 (人)	増加定員(保育)	千円			事業内容
					国・県	市	総事業費	
H27	みどりが丘幼稚園	24	45	21	234,925	96,155	530,010	増・改築工事(老朽化)
H30	取手幼稚園	15	40	25	149,277	38,836	273,196	増・改築工事(老朽化)
	藤代駅前ナーサリー	0	60	60	34,000	17,000	101,800	新築工事(賃貸補助)
R1	あづま幼稚園	15	73	58	201,313	86,572	578,282	増・改築工事(老朽化)
	戸頭東幼稚園	100	138	38	214,339	26,792	453,183	増・改築工事(老朽化)
	つつみ幼稚園	0	48	48	50,707	25,353	104,873	増築工事(認定こども園化)
				250	884,561	290,708	2,041,344	








平成27～令和元年にかけて、私立保育所・認定こども園新設・増改築の補助を行っている。これにより市内の老朽化した施設を改修し、保育定員を250人増加する事ができた。総事業費が2,041,344千円に対し、国・県の補助額が884,561千円、市の負担額が290,708千円となり、市の財政負担をおさえ、保育所施設の充実を行うことができた。

VII. 安定した保育運営のために必要な保育士配置

女性就業率の上昇や幼児教育・保育無償化による保育需要が高まっている状況のなか、正規保育士と非常勤保育士で柔軟に対応しています。保育士の質の向上と併せて今後も多様化するニーズに応えるため、職員体制の整備が必要不可欠です。

廃止や民営化する保育所の保育士について、保育士が不足している公立保育所への配置替えすることで保育士の負担軽減や待機児童解消が期待されます。

庁議審議記録（令和元年11月18日庁議）

市長	副市長	部長	次長	政策推進課				
				課長	副参事	補佐	係長	係
								
合 議 欄								

- 1 提案部署 福祉部
- 2 審議事項 公立保育所の整備方針について
- 3 審議結果 担当課提案の通り、戸頭北保育所を廃止し、中央保育所を民営化することを検討する。

4 審議記録

〈概要説明〉 福祉部長

現在、第四次保育所整備計画を策定するにあたり、取手市子ども・子育て支援事業計画において設定した、4つの中学校区域ごとに公立保育所1カ所配置の考え方を基本として公立保育所の整備方針を検討する必要があります。そこで、4つの中学校区域のうち、公立保育所が2カ所となっている2地区について、以下の対応を検討しております。

- ・戸頭・永山中学校区域→戸頭北保育所を廃止
- ・藤代・藤代南中学校区域→中央保育所を民営化

戸頭北保育所については昭和50年に建築され、老朽化が進んでいることから廃止し、中央保育所については民営化により公立保育所の廃止を検討します。いずれも第四次保育所整備計画期間内に実施したいと考えます。保育需要と確保の方策については、児童人口の減少から、計画当初は不足が出る部分はあるものの、令和6年度には全ての区域で定員は不足しないものと見込んでいます。

【市長】

そのような方向性で進めてください。

【政策推進課長】

その他ご意見、ご質問等ありますか？

【一同】

なし。

【市長】

それでは、審議事項は担当課提案の通り、戸頭北保育所を廃止し、中央保育所を民営化することを検討することとします。